

(お知らせ)

令和7年10月14日
航空幕僚監部

新潟救難隊所属U-125Aの滑走路の逸脱について（第2報）

令和7年9月19日（金）に発生した航空自衛隊のU-125Aによる滑走路逸脱事案についてお知らせします。

搭乗員への聞き取り、機体の確認、コックピット・ボイス・レコーダーの解析及び飛行安全の確保のための対策を講じたことを踏まえ、10月14日（火）から、訓練飛行の見合わせを解除します。

別添：航空自衛隊U-125Aの訓練飛行見合わせ解除について

航空自衛隊 U-125A(※)の訓練飛行見合わせ解除について

※同型機の U-125 も含む。

事案の概要

- 発生日時：令和 7 年 9 月 1 9 日（金） 1 1 時 5 2 分頃
- 発生場所：新潟空港 B 滑走路
- 概 要：航空自衛隊航空救難団新潟救難隊所属の U-125A × 1 機（搭乗員 5 名）が、新潟空港 B 滑走路への着陸の際、滑走路を逸脱し、B 2 誘導路北側の草地付近に停止した。
- 被害状況：航空施設及び滑走路の被害なし。
- 民間航空機への影響：17 便（欠航 15 便、目的地の変更 2 便）
- 措 置 等：事故発生後、U-125A 救難捜索機及び同型機について、訓練飛行を見合わせ

航空自衛隊U-125Aの訓練飛行見合わせ解除について

搭乗員への聞き取り等によって判明した事項

搭乗員への聞き取り

機体の確認

コックピット・ボイス・レコーダーの解析



車輪を出す操作を実施していない



車輪は下りていない



車輪を出す操作を実施した機内通話なし

**分析から考えられる要因は、着陸時に車輪を出していなかった
人的要因によるものと推定**

訓練飛行見合わせの解除

- 航空幕僚長から空自全操縦者に対し、
 - 基本手順の確実な履行
 - 離着陸時における確実な車輪、フラップ（高揚力装置）の発唱操作及び作動状況の確認
 - 搭乗員及び地上勤務員等による確実な連携及び相互補完の3点について徹底するよう指示があり、**所要の教育を実施。**
- 機体の健全性を確認するため、全ての同型機において特別な点検を実施
 - 機体の車輪部を実際に作動させ、着陸時を模擬した機能点検によりその動き等に**異状のないことを確認**
- 事故発生直後から、同型機の訓練飛行を見合わせてきたところ、搭乗員の聞き取り結果を基に、**飛行の安全の確保のための対策を講じたことを踏まえ、10月14日から、訓練飛行の見合わせを解除する。**

対策の状況

操縦者に対する基本手順に関する教育

基本手順及び搭乗員連携に関する教育



特別な点検

機体の車輪部を実際に作動させ、着陸時を模擬した機能点検

